

## 2 市場における温室効果ガス削減の取組

中央卸売市場では、温室効果ガスの排出量の7割を占める電気に対する対策と、2割を占める小型特殊自動車の燃料に対する対策を中心に、温暖化対策を進めていく必要があります。

中央卸売市場では、「東京都中央卸売市場地球温暖化対策推進計画」(参考資料 参照)を策定し、平成16年度の温室効果ガスの排出実績から7.8%の削減目標を立て、平成17年度から21年度までの五カ年で、温室効果ガスの排出抑制を行っています。その際、築地市場、食肉市場及び大田市場の3市場は、環境確保条例に基づく地球温暖化対策計画書制度の対象事業所となっているため<sup>1</sup>、この計画書に計上している削減対策を着実に進めていきます。その他の市場では、市場ごとに策定した市場別地球温暖化対策推進計画に沿って取組を実施していきます。

### ■ 中央卸売市場地球温暖化対策推進計画における目標削減量及び削減率

	温室効果ガス排出 実績(平成16年度)	目標削減量 〔平成21年度〕	目標削減率
築地市場	23,933トン	2,909トン	12.2%
食肉市場	19,194トン	786トン	4.1%
大田市場	17,041トン	1,092トン	6.4%
〔小計〕	60,168トン	4,787トン	8.0%
その他市場	15,912トン	1,195トン	7.5%
〔合計〕	76,080トン	5,983トン	7.8%

#### (1) 省エネ対策の推進

市場内の施設においては、不要箇所の部分消灯の実施や省エネタイプの照明器具の導入、低温倉庫の開閉徹底による冷気漏れの防止等の日常業務活動における省エネルギーの取組や、施設整備事業における旧式冷蔵冷凍機器の省エネ型への更新等を進めていき、電力使用量の低減等による温暖化対策の推進に努めていきます。

#### (2) 小型特殊自動車の電動化の推進

内燃機関式の小型特殊自動車については大気環境改善の観点から電動化を進めていますが、温室効果ガス排出量の少ない電動車への転換は、地球温暖化対策として非常に有効なため、引き続き電動化を推進していきます。

#### (3) 物流における環境配慮と廃棄物の発生抑制

<sup>1</sup> 年間のエネルギー使用量が電気600万kwh以上又は燃料・熱(原油換算)で1,500kl以上の事業所に対し、事業活動における温暖化対策の自主的取組を計画的に実施するもの。

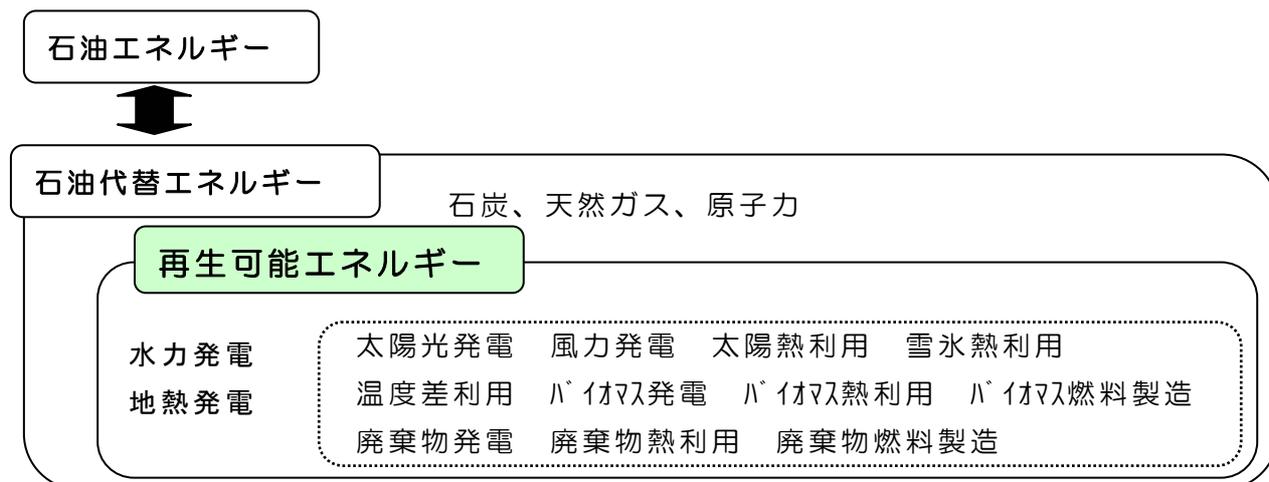
物流部門における輸配送の共同化やモーダルシフト、ごみ排出量の削減は、省エネルギー、省資源化の取組であるとともに、地球温暖化対策として有効であるため、今後各場において取組を進めていきます。

#### (4) 再生可能エネルギーによる電力の使用

中央卸売市場は、多くの店舗照明や低温倉庫等の存在により、都内有数の電力需要者となっています。また、食の安全・安心の取組が求められるなか、コールドチェーン化や閉鎖型施設の増改築も予想されており、今後も大量の電力を消費すると予測されています。これに加え、市場には、震災や災害による停電等があっても、消費者に食料品を供給する使命があるため、リスク分散の観点からも、独立した分散型のエネルギー源の活用を組み込んでいくことが有用と考えられます。

平成 12 年度から電力の一部自由化が始まっており、電気供給事業者の中には、太陽光、バイオマス、風力、水力、地熱発電等の再生可能エネルギーによって発電した電気（グリーン電力）を供給する事業者があります。

今後、市場で使用する電力購入についても、グリーン電力の導入事例<sup>1</sup>を見極めつつ、環境配慮を行った電力の購入について、検討を進めていきます。



#### 中央卸売市場における再生可能エネルギーの導入事例

##### (ア) 電気エネルギー

###### 太陽光発電〔世田谷市場〕

世田谷市場の屋上には太陽光発電システムを試験導入しており、動力電源として使用されています。平成 16 年度の発電実績は約 26,000kwh であり、世田谷市場で使用する電力の約 1% 程度を担っています。

###### 氷蓄熱式エアコンシステム〔世田谷市場〕

<sup>1</sup> 平成 17 年 6 月、東京文化会館（台東区）では、再生可能エネルギー（秋田県能代市の木屑バイオマス発電）を 5% 含む電気を日本で初めて購入している。

電気料金が低廉な夜間電力を活用して氷を作り、昼間の冷媒として利用するもので、電気料金の削減とともに電力需要のピークカットに貢献しています。

(イ) バイオマス発電のための資源提供

築地市場青果部では、廃棄物処理団体が、野菜くずなどを利用して発電するシステムの試験的導入として、青果部で発生する生ごみの一部を液状化し、場外の発電施設に運搬し、バイオマス発電として実施しています（ 43 頁）。

(5) 水と緑の活用

屋上緑化（食肉市場、大田市場、世田谷市場）

屋上緑化は、ヒートアイランド現象の回避に効果があります。

雨水浸透枘及び浸透管による地下浸透（大田市場、世田谷市場、多摩ニュータウン市場、葛西市場）

雨水の有効利用により地下水の涵養に役立っています。

雨水利用（食肉市場、大田市場、世田谷市場、多摩ニュータウン市場、葛西市場）

雨水を貯留槽に溜め、ろ過・消毒後に洗面所で使用しています。

海水の利用（築地市場）

海水を取水し、ろ過・滅菌後に床面清掃の洗浄水に使用しています。

(6) 地球温暖化対策の推進

東京都では、市場における地球温暖化対策を着実に推進するため、温暖化対策の取組体制を定めています<sup>1</sup>。これに基づき、各市場における取組実績や計画の進捗状況を点検・見直していき、継続的な改善を図っていくこととしています。

---

<sup>1</sup> 「東京都中央卸売市場地球温暖化対策推進規程」

# 中央卸売市場における地球温暖化対策の推進体制

